

# やまなしの福祉

2022 No.366

秋  
AUTUMN

〈P02〉 | 会長就任あいさつ / R3 事業報告・決算の概要

〈P03〉 | やまなし保育士・保育所支援センター開所のお知らせ

〈P04~07〉 | 特集 高齢者の生きがいづくり

〈P08~09〉 | いきいき山梨ねんりんピック 2022

山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大会 作品紹介

〈P10〉 | 介護実習情報

研修・講座のご案内

福祉用具紹介

〈P12〉 | 善意をありがとう ほか



特集 Special feature

## 高齢者の 生きがい づくり

取材

人とつながり、社会とつながる

はたらき  
野菜づくりで生きがいを「畑楽もん」

(社会福祉法人 都留市社会福祉協議会)

## 新会長就任あいさつ



社会福祉法人  
山梨県社会福祉協議会  
会長

**高野 孫左エ門**  
/Magozaemon Takano

このたび、山梨県社会福祉協議会の会長に就任いたしました、高野孫左エ門です。  
近年、少子高齢化が進み、世帯、家族、地域のつながりが希薄化し、我々の身の回りの課題も多様化・複雑化してきています。  
さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、孤独・孤立や生活困窮者の増加など、新たな課題も顕在化しております。  
このような中で、山梨県社会福祉協議会の会長として重責を担うことは、誠に光栄でありま  
すとともに、身の引き締まる思いです。  
今年度からスタートした「第3次強化発展計画」に基づき、地域共生社会の実現に向けて、  
生活困窮者の自立支援、地域コミュニティの再生、介護・保育人材の育成と定着、災害福祉支  
援などの施策を着実に実行して参りたいと思います。  
また、施策の推進に当たりましては、会社経営者として、各種民間団体の長として培ってき  
た知識・経験を還元できたらと考えております。  
さらに本会は、市町村社会福祉協議会や行政、民生委員・児童委員をはじめとする福祉関係  
者・団体の方々、地域活動やボランティア活動を実践されている方々の協力が欠かせないこ  
とから、今後も連携を密にして、情報の共有をしっかりと図ります。  
芦澤敏久前会長の実績を今後引継ぎ、本会の充実・強化と発展、地域福祉の推進に邁進し  
て参りますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## Business report/Financial results

### 令和3年度山梨県社会福祉協議会 事業報告・決算の概要

令和3年度事業報告並びに一般会計及び特別会計収支決算が、監事会の監査を経て理事会及び評議員会において承認されました。「第2次強化発展計画」の「地域住民の生活目線に立った地域福祉活動の実践による、子どもから大人までだれもが安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現」を基本目標に、令和3年度においても計画を一年延長する中で事業活動に取り組んで参りました。前年度に引き続き、コロナ禍の影響を受けた1年となりましたが、基本的な感染防止対策を徹底し、会議や研修会、相談会等のオンライン化を積極的に取り入れながら、各事業を停滞させることなく取り組むことができました。

その中でも、重点事業①「生活困窮者の自立支援・生活福祉資金(特例貸付)貸付事業」では、コロナ禍で収入減少した世帯等の相談支援に力を入れ、新型コロナ特例貸付については、令和3年度7,300件の貸付決定を行うとともに、今後の償還開始へ向けた体制整備に取り組みました。重点事業②「福祉・介護人材の定着支援」では、各種研修会の開催や相談会の実施、事業所の訪問活動などを通じて、離職予防・定着支援に取り組みました。重点事業③「社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの実践」では、オンラインによる研修・セミナーの開催を通じて、社会福祉法人等の地域における取り組みをサポートしました。重点事業④「本会組織の財政基盤及び人材育成の強化」では、ホームページの広告掲載や本会会員の加入促進に努めるとともに、新採用職員研修や職員アンケートの実施を通じた職場環境改善、職員の意識向上を図りました。

令和3年度までの成果や課題を踏まえ、令和4年度は「第3次強化発展計画」がスタートしています。「だれもがつながり、ともに支え合い、すべての人々が安心して暮らせる地域共生社会の実現」を目指し、今年度も各事業を展開して参ります。

#### 令和3年度 総合資金収支計算書(概要版)

		事業区分	収入総額	支出総額
一般会計	社会福祉事業	法人運営事業、社会福祉大会、日常生活自立支援事業、地域福祉推進事業など	466,475,791円	372,733,674円
	公益事業	退職手当共済事業、介護福祉士修学資金等貸付事業など	1,531,101,838円	1,139,907,524円
計			1,997,577,629円	1,512,641,198円
生活福祉資金会計	生活福祉資金、生活福祉資金貸付事務費など		7,272,793,497円	4,114,551,455円

※事業報告および決算の詳細は、本会ホームページ内「県社協の紹介」でご覧いただけます。

# やまなし保育士・保育所支援センター

Yamanashi Support Center for Childcare Workers and Childcare Centers

## 6・29 開所のお知らせ

本センターは山梨県より委託を受け、山梨県社会福祉協議会が運営していきます。

センターでは、県で掲げる「新たな待機児童ゼロ」の実現に向けて、保育士資格を持っているが保育現場で働いていない方に、やまなし保育士・保育所支援センターにご登録いただき、保育士を必要としている保育所等とのマッチングを通じて就労支援を行います。また、保育士の定着に向けた支援、本センターのHPやSNSでの保育の魅力発信なども進めていきます。



看板を除幕する  
長崎知事(左)と高野会長(右)



## 保育士として働きたい方の気持ちに寄り添いながら 就職に向けてのお手伝いをします

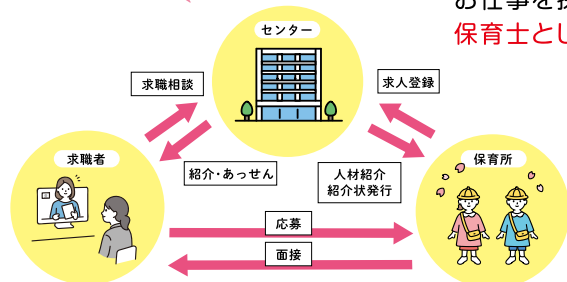
やまなし保育士・保育所支援センターでは、保育士経験のある方の再就職や保育士を目指す人など、保育の仕事をしたい人の就職、保育所等の人材確保を支援します。お気軽にご相談ください。

## ぜひご利用ください

- 保育士の就職相談や就職支援が無料で受けられます。
- 保育士の資格をお持ちで、現在保育士の仕事に就いていない方に向けて、就職に役立つ情報を提供します。
- 保育士を探している保育所等の方や、就職先を探している保育士資格をお持ちの方は、一度センターにご連絡ください。保育士支援コーディネーターがサポートします。

やまなし保育士・保育所  
支援センターの

### しくみ



保育に関わる最新情報や  
研修会の開催情報などの情報発信もしていきますので、  
お仕事を探している方だけではなく、  
保育士として働いている方もぜひご登録をお願いします。



福祉のお仕事



検索



(またはQRコードをお読み取り下さい)

LINEでも  
ご相談を  
受け付けて  
います!



問い合わせ先

やまなし保育士・保育所支援センター 山梨県社会福祉協議会内

TEL:055-254-1821

ホームページはこちら

やまなし保育士・保育所支援センター

検索



## 高齢者の割合と ひとり暮らしの比率

近年、日本における年代別人口構成には特徴があり、全体では減少する一方、65歳以上の人口は増加の一途をたどっています。特に山梨県は、全国に比べ進行の度合いが早い状況にあり、高齢化率31.2%、おおよそ3.2人に一人が65歳以上の高齢者です。山梨県の「令和4年度 高齢者福祉基礎調査」によると、高齢者夫婦世帯(夫婦とも65歳以上)は45,455世帯で、総世帯数の12.4%を占めています。さらに、高齢者人口のうち24.7%が在宅ひとり暮らし高齢者世帯であり、高齢者夫婦世帯、在宅ひとり暮らし高齢者世帯ともに、その数は年々増えています。(令和4年4月1日現在)

# 高齢者の 生きがいづくり

## 一人ひとりの「生きがい」と 「地域共生社会」 高齢化問題を考える

高齢者の増加に伴い、施設整備の充実と併せて求められるのが、地域で支える福祉コミュニティの力。山梨県社会福祉協議会 第3次強化発展計画では、「だれもがつながり、ともに支え合い、すべての人々が安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指す」ことを基本目標としています。「地域共生社会」とは、『支える側』『支えられる側』という関係を超越して、すべての地域住民が地域づくりに参画し、社会とつながりを持ち、生きがいや役割を持って、助け合いながら暮らしていける社会のことです。本県は都道府県別健康寿命で男女ともに全国トップクラスの結果を維持しており、「高齢者の生きがいづくり」=「高齢になっても地域とつながりながら生きがいや役割を持ち、いきいきと暮らしていけること」は、「地域共生社会」を実現していくための大きなポイントのひとつといえるのではないのでしょうか。

本号では、県内における「高齢者の生きがいづくり」の取り組みとして、都留市社会福祉協議会が実施する共同菜園ボランティア「畑<sup>はたらき</sup>楽もん」の活動取材しました。また、山梨県福祉保健部健康長寿推進課の皆様から、県内の現状や課題についてお話を聞きました。



*Creating purpose in the lives of the elderly*



健康意識の高まりや医療技術の進歩によって“人生100年時代”と呼ばれる時代になり、私たちの暮らしや社会の在り方は少しずつ変化をしています。山梨県内でも高齢化率は高まっており、心身ともに健康で豊かに暮らすための活動に、多くの注目が集まるようになりました。都留市社会福祉協議会が実施する、共同菜園ボランティア「畑楽もん<sup>はたらき</sup>」もその一つ。今回、介護職員の経験を持ち、当活動でボランティアコーディネーターとして活躍する宮本舞美(ミヤモトマイミ)さんに、野菜づくりから描く地域共生社会についてお話を伺いました。

# 人とつながり、社会とつながる 野菜づくりで生きがいを

## 趣味を通じて楽しく地域福祉に参加する

都留市社会福祉協議会では、未来に<sup>かける</sup>×橋プロジェクトの一環として、男性を対象にしたボランティア入門講座「畑楽もん<sup>はたらき</sup>」を今年度から開始しました。「野菜づくりで生きがいつくり」をコンセプトに、同じ目的を持つ仲間と活動をともにすることで、定年退職後の社会参加の場や居場所として地域福祉の一端を担っています。この活動を始めたきっかけは、宮本さんが参加した全社協の研修で、大阪市鶴見区社会福祉協議会の共同菜園ボランティア“鶴見区シニアボランティア アグリ”の発表を聞いたことでした。「女性と比べて集まりの場や地域のコミュニティに参加しづらい男性がどうしたら地域で活

躍できるのか、都留市でも高齢者の孤立・孤独防止に向けて同様の課題を抱えていました。市内に休耕地が多くあったことも後押しになり、この企画を立案しました」。

今年度の第1クールに集った参加者は4名。講座の回数を重ねるごとに参加者同士の関係性も深まり、現在では自発的に連絡を取り合って活動の主軸を担っています。当活動では約1日おきの頻度で畑へ。移動手段のない方も乗り合わせをしたり、身内の方の手を借りたり、参加者一丸となって第1クールの行程を乗り越えてきたそうです。宮本さん自身、農業の経験はなく、参加者と力を合わせて活動を進めてきました。



全11種の野菜を10回以上収穫。市内の子ども食堂「つる食堂」に届けることができました

野菜が思うように育たなかったり、獣害を受けたり大変なこともありましたが、収穫時の達成感や社会貢献ができる嬉しさなど、やりがいのある活動だと実感。「楽しみながら参加することが活動の目的ですので、その気持ちを持つことが最優先。そこから地域共生社会に向けて、地域の困りごとを我が事として幅広い世代



市内3ヶ所にある大学からも援農ボランティアを募っていますので、少しずつ地域の輪が広がってほしいですね

(都留市社会福祉協議会 宮本 舞美さん)



第1クールから継続して参加をされる方3名、第2クールの新規参加者3名。計6名で今季は活動をしていきます

が意識することが大切だと感じています」。今後も「畑楽もん」のように自然な流れで地域福祉に参加できる企画を思案したいという宮本さん。収穫を待つ野菜づくりと同様に、地に根をおろしたばかりの畑楽もんと地域社会の未来を楽しみに、これからも活動を続けていきます。



## 参加者インタビュー

### 後藤 敬(タカシ)さん 85歳



第1クール参加者

同居する娘の勧めをきっかけに知った畑楽もんですが、今はなくてはならない存在となっています。農業の基本を知りたい気持ちから講義目的の比率が大きかったのですが、いざ活動が始まってみると、自分のペースで作業ができ、参加者の皆さんも気さくでいい方ばかりで良い関係性が築け、毎日畑に通うのが楽しくなりました。これから2クール目になりますが、新しい仲間とも協力しながら、今後も徐々にメンバーが増えていったら嬉しいです。人手が増えれば作業の幅も広がると思うので、作業効率を考えながらディスカッションなどもできたらいいですね。これからの人生を考えたとき、生きがいを持って自分が納得できること、満足できることをしたいと思います。



第1クール参加者

### 古屋 憲司(ケンジ)さん 70歳

現役時代にはできなかった地元への恩返しをしたいと、おもちゃドクターのボランティアや自治会活動などに積極的に参加していたことから、畑楽もんを知りました。野菜を栽培する過程や作業に興味を持ち参加しましたが、実体験を通して感じたことは、1つの目標に向かって協力しながら野菜を実らせた喜びと、参加しなければ会えない人たちと出会い、仲間になれたことでした。子ども食堂に食材を届け、一緒に食事をして子どもたちの喜ぶ顔を見ることができたことも嬉しかったですし、野菜作りを通じて食べ物への感謝を学べたことも財産です。第2クールも参加しますが、さまざまな世代と一緒に取り組みを広げて、地域の活性化の一助になれたらと思います。

### 水越 洋(ヒロシ)さん 78歳



第2クール参加者

毎日欠かさずグランドゴルフへ行き、軽スポーツなど身体を動かすことが好きで、家庭菜園できゅうりといんげんも栽培しています。素人のため美味しく育てることができず、勉強して良い野菜をつくりたいと参加することにしました。家族に褒められる野菜づくりとともに仲間づくりも楽しみにしています。

### 山本 典男(ノリオ)さん 71歳

元自衛官で身体だけは自信があり、思い立ったら一人で九州まで車を飛ばし、温泉に行くほど温泉めぐりが趣味です。この体力をどこかに貢献できたらと、野菜づくりと健康、仲間づくりを楽しみに、これから参加します。



第2クール参加者

#### DATA

#### はたらき 「畑楽もん」

都留市社会福祉協議会 事務局  
都留市下谷2516-1 いきいきプラザ都留 2階  
Tel: 0554-46-5115



## 「健康長寿 やまなしプラン」 について

(課長 小澤 理恵さん)

県内での現状と課題を整理すべく「健康長寿やまなしプラン」を令和3年度から5年度にかけ実施しています。高齢化のピークとされる2040年頃を見据え、状況を把握しながら、**住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らし続けられる地域社会の実現**に向けて、介護予防や健康づくりを推進し、社会参加できる環境を整えています。介護待機者ゼロ社会に向けた取り組みとして、**施設の整備**と同時に**介護人材の確保、定着と資質向上**を図り、サポートを行っていききたいと思っています。



(課長補佐 林 史岳さん)

## 「生きがいづくり」に 向けた取り組みと 社会参加の実態

県では、地域の人々と共に参加する老人クラブの活動やねんりんピックのほか、活躍や発表の場として**ことぶきマスター**や**シルバー作品展**などを実施しています。各市町村においては、介護予防のための**通いの場**や**サロン**を設け、積極的に楽しく活動をされている方が多くいます。また、笛吹市や北杜市においては、**フレイルチェック**を導入しており、普及活動のサポーターになることで、**生きがいづくりやモチベーションアップ**をはかり、**介護予防・フレイル予防**につなげています。このような活動が**地域全体の活力**にもなり、**地域活性化**の一端も担っていくのではないかと期待しています。

### フレイルとは

加齢とともに心身の活力が低下した状態で、健康と要介護の中間のことを指します。フレイル予防では、**栄養(食生活)**、**運動**、**社会参加**の3つの柱をバランスよく改善していくことが大切です。



### ことぶきマスター

60歳以上の方々に、長年の**人生経験から培った知識・技能・生活の知恵**を活かし、**地域づくり**等に**貢献する活動**をしている方々を「ことぶきマスター」として認定。山梨県社会福祉協議会が運営する人材バンクに登録し、市町村や各種施設のイベントなどへ派遣され、活動をしています。



(副主査 嶋津 栄伸さん)

## これからの 高齢化社会を考える

Considering the Aging Society of the Future

山梨県福祉保健部健康長寿推進課の皆様からお話を聞きました。



(主事 三井 朝日さん)

## なぜ「生きがいづくり」が大切なのか

これからの高齢化社会では、**心身ともに健康で暮らす**ことが**地域共生社会の実現**においても不可欠です。退職後は家で過ごす時間も増えますが、自分の培ってきた経験や技能を活かし『ことぶきマスター』で楽しく地域貢献をされたり、通いの場をきっかけに運動習慣を身につけたり、**新たなコミュニティを開拓**していくことで、生き方にも影響をしていくと思います。また、雑談をしたり、お茶をしたり何気ない交流が介護予防やフレイル予防には大事であり、**健康を支える**ためにも積極的に社会参加をしてほしいです。

## 高齢者が生きがいや 役割を持っていきいきと 暮らしていける地域づくり

**生き方の多様化**が進み、趣味の時間やひとりの時間を大切にされる方が増え、自発的に参加されない方へのアプローチも**孤立・孤独防止**のために必要です。気軽に参加できるよう、**親しみやすい場の提供**とともに一般的な広報やHP以外の**情報発信の方法**にも工夫をしていきたいと考えています。

## まとめ

私たちが暮らす地域には、性別や世代、価値観の違う人々が集まっています。その違いや個性を**尊重し、認め合い、助け合いながら暮らしていく**ことは、その人の「生きがい」を彩り、高齢者になっても**健康でいきいきと暮らしていく**ことにつながります。「生きがい」とは、性別や世代、環境や考え方によって異なるもので、人それぞれのカタチがありますが、今回の取材を通して感じたことは「**社会とつながり、仲間とともに活動すること**」が「生きがい」につながっていくということです。そんな「生きがい」が自然に生まれ、元気な高齢者が活躍する地域づくりは、**地域共生社会を実現するための大切な要素のひとつ**なのだと思います。

# いきいき山梨

いきいき山梨ねんりんピック実行委員会(事務局):  
「いきいき山梨ねんりんピック2022 山梨県シルバー作品展」

山梨県シルバー作品展

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に、187点の作品が集まりました。  
各部門で優秀賞に選ばれた作品は、11月に開催予定の「第34回全国健康福祉祭  
神奈川・横浜・川崎・相模原大会」の美術展に山梨県代表作品として出品されます。



日本画「秋気」  
古谷 三七子 79歳 甲府市



日本画「淡雪に凌む三千院」  
松井 典子 81歳 甲府市



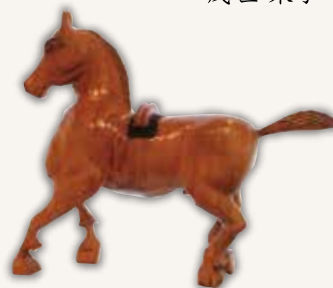
洋画「私のインド」  
茂垣 栄子 72歳 北杜市



洋画「遠想 (えんそう)」  
福地 秀樹 77歳 上野原市



彫刻「働く手」  
里吉 武仁 68歳 甲州市



彫刻「馬」  
渡邊 信玄 88歳 忍野村

書「秋興に一筆画きの嶺いくつ」  
芳賀 隆 81歳 山梨市

優  
秀  
賞



工芸「こげ釉石はぜ花器」  
櫻林 昇 73歳 南アルプス市



工芸「晩秋の彩り」  
石原 初子 88歳 笛吹市



書「花下醉(花の下で心酔する)」  
長坂 豊 97歳 大月市



写真「街灯り」  
村松 義輝 78歳 甲府市



写真「彼方の幸」  
小林 敬子 84歳 甲府市



# ねんりんピック

Yamanashi Silver  
Haiku Contest

山梨県社会福祉協議会)は、6月17日から19日まで  
「シルバー俳句大会」を山梨県立図書館イベントスペースで開催しました。

「シルバー俳句大会」には、県内の60歳以上の人から、788句の作品が集まり、  
5月25日に3人の選者(山田省吾さん、井上康明さん、保坂敏子さん)により審査会を行い、  
特選15句、秀作30句、佳作45句が決定しました。

## 山梨県シルバー俳句大会

## 特選句

審査員

山田省吾

保育器の生命の拳春灯

北杜市 八代 菜美子 74歳

照紅葉富士絶景のレストラン

中央市 佐野 直美 68歳

たらい舟降りて裸足の島娘

北杜市 伊藤 政雄 81歳

日溜りに父の散髪花八手

都留市 野中 定代 75歳

たうたうと堰の水嵩夏来る

斐崎市 白倉 みはる 72歳

審査員

井上康明

うららかや一笑百寿の処世訓

甲府市 三枝 悦夫 87歳

紫陽花や寺に千体水子仏

都留市 小笠原 勇 90歳

夫の着し防寒着なり我が着る

笛吹市 日向 敬子 85歳

犬もまた連峰の雪遠望す

甲府市 小林 正樹 82歳

杉の花ゆさゆさ湧水の溢れ

北杜市 水上 英子 70歳

審査員

保坂敏子

揚雲雀ひたすら青空に親し

富士川町 有泉よ志枝 83歳

黎明のいのち透きゆく寒牡丹

甲府市 小菅 光子 84歳

黒松の幹の百年日脚伸び

中央市 佐々木いづみ 82歳

裏口へ廻りても留守返り花

昭和町 齊藤 猛美 75歳

振り返り金木犀の木を探す

笛吹市 高野 博夫 73歳

年齢は令和4年6月17日現在

受講料無料

# 介護実習情報

Nursing Practice Information

令和4年度 山梨県立介護実習普及センター

## 研修・講座(10月~2月)のご案内

対象者:高齢者介護をしているご家族や介護に関心のある方など、どなたでも受講できます。

会場:山梨県福祉プラザ1階 介護実習普及センター介護実習室・調理実習室

### テーマごとに学ぶ講座

清潔の保ち方(ベッドでの洗髪・清拭)

開催予定日/10月31日(月)

時間/9:30~12:30 定員/30名

快適排泄のポイント

開催予定日/11月2日(水)

時間/9:30~12:30 定員/30名

お年寄りに起こりやすい

病気と予防・救急法

開催予定日/11月25日(金)

時間/10:30~14:30 定員/30名

### 調理実習を通して学ぶ“介護食”講座

お年寄りの食事の特徴と調理の実際

開催予定日/2月3日(金) 時間/9:30~14:30 定員/8名

お年寄りにやさしい献立作り・栄養を補う副菜の調理

開催予定日/2月10日(金) 時間/9:30~14:30 定員/8名

飲み込みの障がいに合わせて調理方法・トロミの付け方

開催予定日/2月21日(火) 時間/9:30~14:30 定員/8名

### 認知症について学ぶ講座

認知症サポーター養成講座 同じ内容を2回開催

開催予定日/11月16日(水)・2月15日(水)

時間/13:00~15:00 定員/各30名

★医師から学ぶ!認知症の症状の理解と介護の心がまえ

開催予定日/10月27日(木)

時間/10:00~11:30 定員/30名

認知症介護の経験者のはなし ~認知症を持つ家族を介護して~

開催予定日/2月28日(火)

時間/10:00~12:30 定員/30名

### 福祉用具を体験する講座

福祉用具展示室 見学・体験ツアー

同じ内容を2回開催 定員/各30名

開催予定日/11月4日(金)

時間/10:00~11:30

開催予定日/2月16日(木)

時間/13:30~15:00



★印…センター開催と同時にZoomにてオンライン配信を行います。

◎各講座とも、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止にさせていただく場合があります。その場合はホームページやフェイスブック、インスタグラムでお知らせするとともに、受講申込者に連絡します。受講希望者の方には大変ご不便をおかけしますが、皆様の安全確保と感染拡大防止を考慮した対応ですので、ご理解をお願いします。

問い合わせ・お申し込み先

介護実習普及センター TEL 055-254-8680

ホームページからお申し込みできます。



## 福祉用具のご紹介

Introduction of welfare equipment

「Emi」は、頭頸部を調節できる「電動ヘッドレスト機能」を搭載しています。頭頸部0~30度の屈曲位置にすると顎を引いた前向き目線の姿勢になり、誤嚥リスクを低減します。ベッド上での食事や投薬時、口腔ケア時のポジションに最適です。

0~50度になると、上体が起き上がるのでベッド上でテレビを見たり本を読んだり、ご家族とコミュニケーションをとる場面でも快適に過ごすことができます。

0~30°

ADLポジション

誤嚥リスクの低減に



0~50°

QOLポジション

安楽姿勢に



CHECK

### チェックポイント

介護保険福祉用具貸与対象品です。要介護2~5の認定を受けている方は、月額レンタル料の1割~3割でレンタルできます。

GOOD!

### こんな方にオススメ!

高齢の方、要介護状態の方にオススメです。



商品名/Emi  
用具種類/在宅介護向け電動ベッド  
価格/オープン価格  
メーカー/シーホネンス株式会社

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料（1名あたり）** 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

商品パンフレットは  
**コチラ**



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆**年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。**  
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉

TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

# NEWS

善意をありがとう Thank you for your good will.



## 山梨中央銀行様 食料品のご寄付

山梨中央銀行(入野文謙総務部長)様より、食料品のご寄付をいただきました。  
山梨中央銀行では、「山梨中央銀行グループSDGs宣言」のもと、地域全体でのSDGs達成に向けた持続可能な地域社会づくりの一環として、就学援助等を受けているご家庭のお子様への支援等に取り組んでおります。  
今般、「第1回『山梨中銀フードドライブ』」を実施し、山梨中央銀行グループ役職員から計460Kgの食料品をいただきました。  
ありがとうございました。



## 一般社団法人山梨県法人会連合会様 公益社団法人甲府法人会様

### タオル等贈呈式

一般社団法人山梨県法人会連合会様、公益社団法人甲府法人会様(いずれも高野孫左エ門会長)より、会員法人の皆様からお寄せいただいたタオル、石けん、ティッシュ、使用済み切手等の沢山の寄贈を頂きました。  
お預かりした寄贈品は、福祉施設で活用いただきます。  
ありがとうございました。



## KDDI株式会社様 寄付金贈呈式

KDDI株式会社 南関東総支社(手嶋浩幸総支社長)様より、山梨ともしび基金へ2021年度にKDDI社員様が行った社会貢献活動(KDDI+αプロジェクト)のポイントを金額換算した50,000円をご寄付いただきました。  
いただきましたご寄付は民間福祉活動の助成を行う「山梨ともしび基金」で大切に活用させていただきます。  
ありがとうございました。

## 「山梨県福祉人材センターニュース」を発刊しました。

山梨県福祉人材センターでは、福祉のお仕事をより多くの方に知っていただくため、県内の福祉施設の職場の様子や福祉人材センターの実施事業などをご紹介します「福祉人材センターニュース」をデジタルブックで発刊いたしました。是非、ご一読ください。

ホームページ [http://www.y-fukushi.or.jp/renew/work\\_learn/j-news.html](http://www.y-fukushi.or.jp/renew/work_learn/j-news.html)

QRコードは、  
こちら▼▼



## 読者アンケートのお願い

今後の広報誌づくりの参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。



QRコードよりご回答ください。

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版をご覧いただけます。バックナンバーの閲覧もできますので、ぜひご活用ください。

<http://www.y-fukushi.or.jp>

ここから  
チェック!!



## ご利用している福祉サービスについて

「こうしてほしい」

と思っていないですか？

「なおしてほしい」

と望んでいませんか？

山梨県福祉サービス運営適正化委員会が  
疑問・要望などのご相談に応じます。

## 山梨県福祉サービス運営適正化委員会

住所 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ4階  
受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分  
電話 055-220-3030

## お知らせ Notice

今年度より、やまなしの福祉は年4回の発行とさせていただきます。次号は12月末発行予定です。

この広報誌の作成費用の一部に  
赤い羽根共同募金配分金を充てています。

